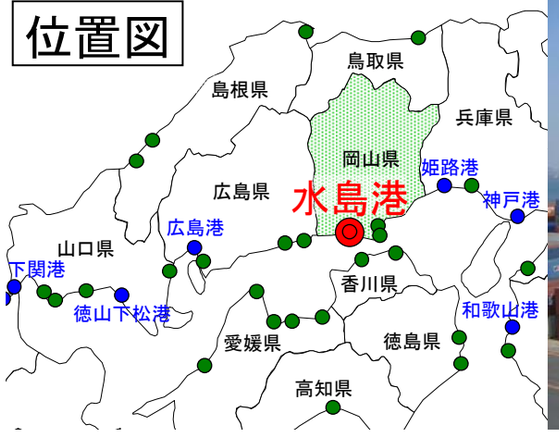
水島港港湾計画
―改訂―

平成18年7月6日
交通政策審議会
第18回港湾分科会

資料3－2

位置図



水島港の港湾計画改訂の方針

【計画改訂の方針】

①物流機能の強化

(1)-1　コンテナ貨物等の取扱機能の強化

(1)-2　完成自動車の取扱機能の強化

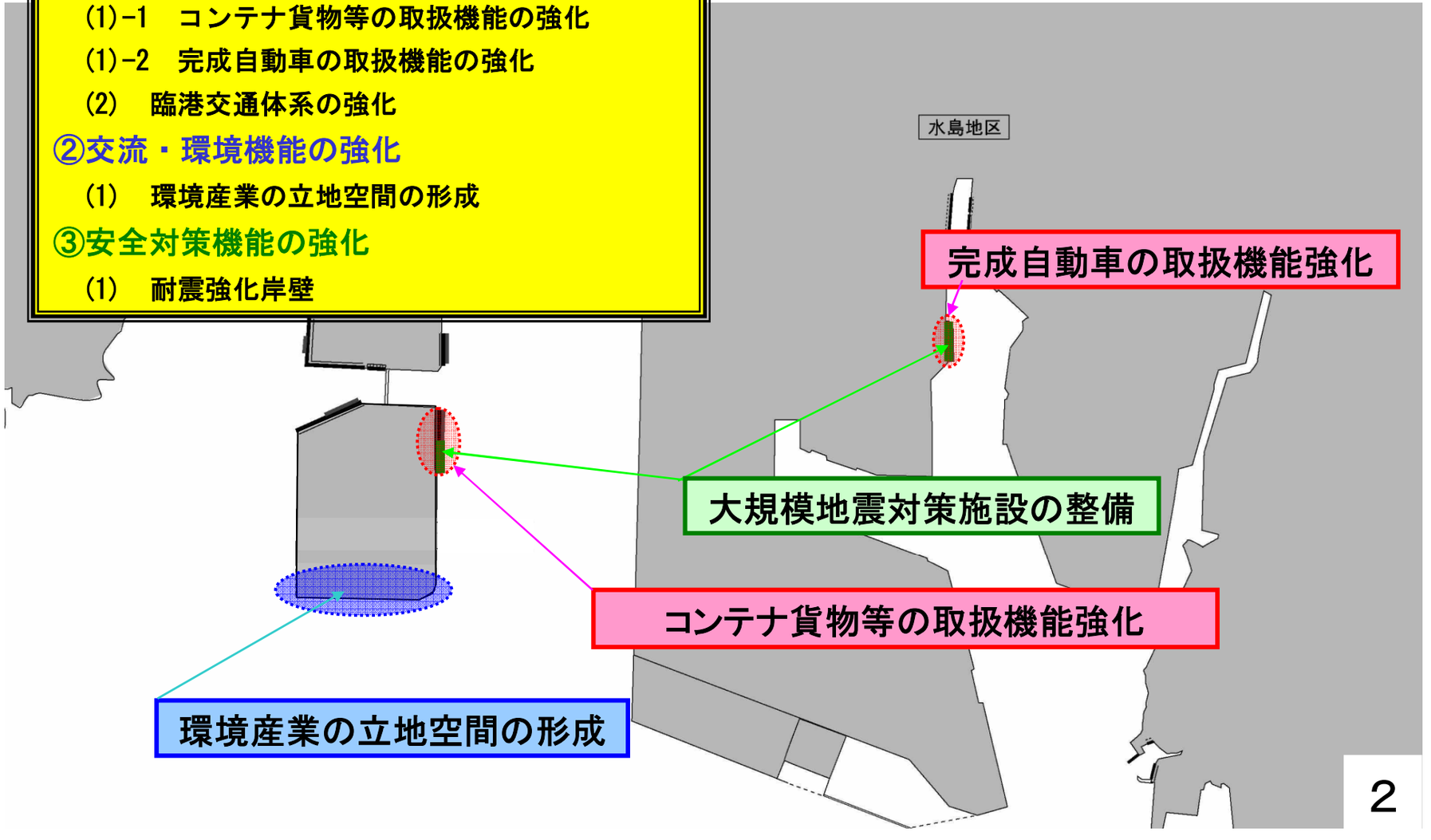
(2)　臨港交通体系の強化

②交流・環境機能の強化

(1)　環境産業の立地空間の形成

③安全対策機能の強化

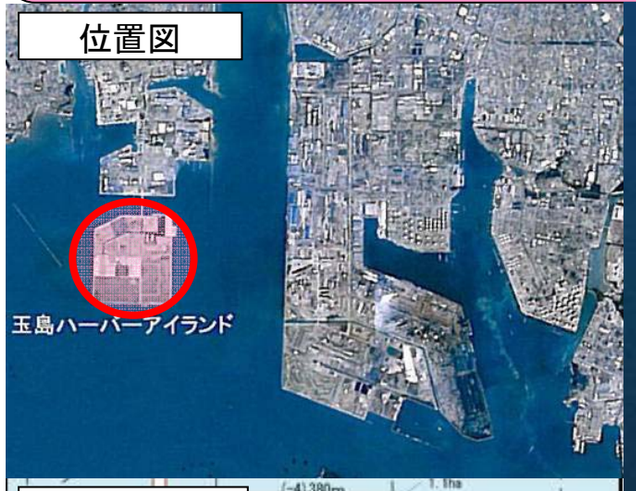
(1)　耐震強化岸壁



①物流機能の強化
～(1)-1 コンテナ貨物等取扱機能の強化～

◆課題・背景
- 外貿コンテナ貨物量の急増
- コンテナ船の入港頻度増加
- 飼料関連貨物の非効率な輸送（２次輸送等）

◇対応
外貿コンテナ船および大型飼料運搬船に対応した岸壁(水深12m, 延長240m) の整備



①物流機能の強化
～(1)-2 完成自動車取扱機能の強化～

◆課題・背景
- 大型自動車専用船に対して施設規模が不足
- 現在利用されている施設の老朽化

◇対応
- 隣接する２施設の集約および増深（水深11m）
- 老朽化対策の実施

位置図

西公共埠頭

集約・増深

①物流機能の強化
～(2)　臨港交通体系の強化～

◆課題・背景

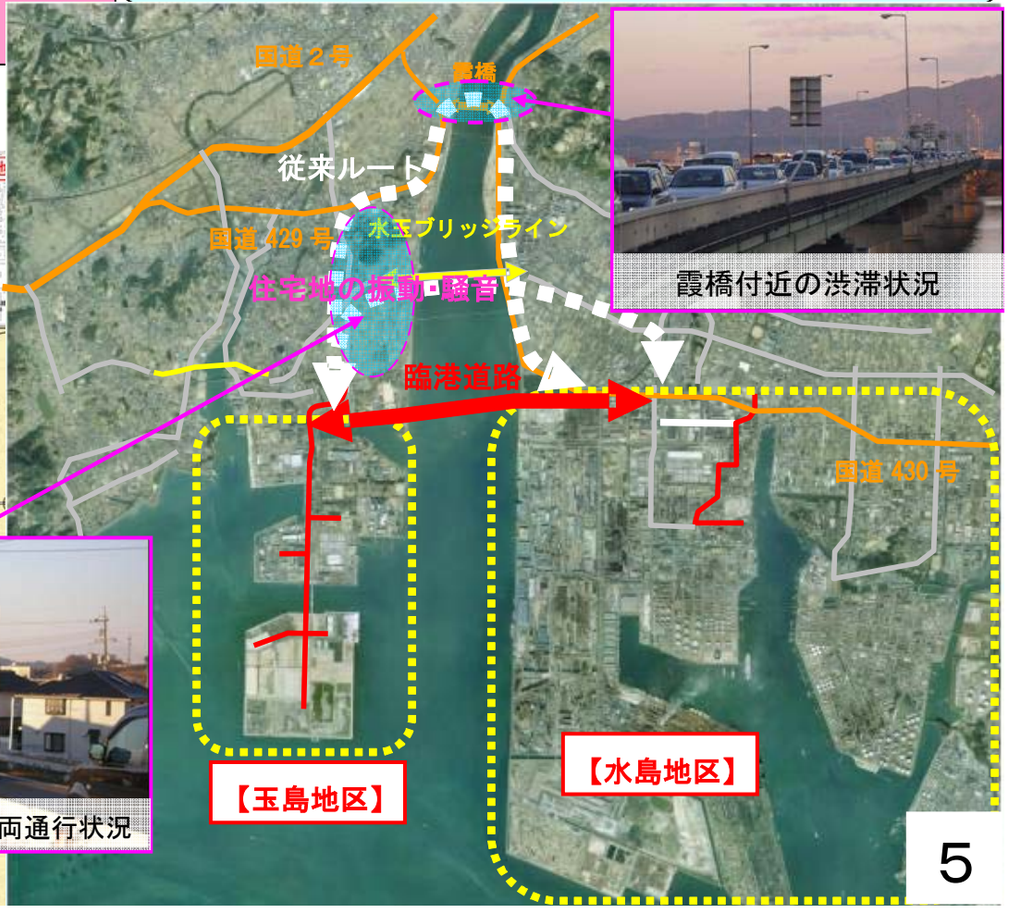
・物流拠点である玉島地区と生産拠点である水島地区との連絡機能が不十分。

・北側への迂回により、近隣の住宅地での大型車両の通行による振動や騒音問題発生。

◇対応

・玉島地区と水島地区とを結ぶ臨港道路の整備により、港内の物流を効率化し、周辺環境を改善。

住宅地近隣の大型車両通行状況

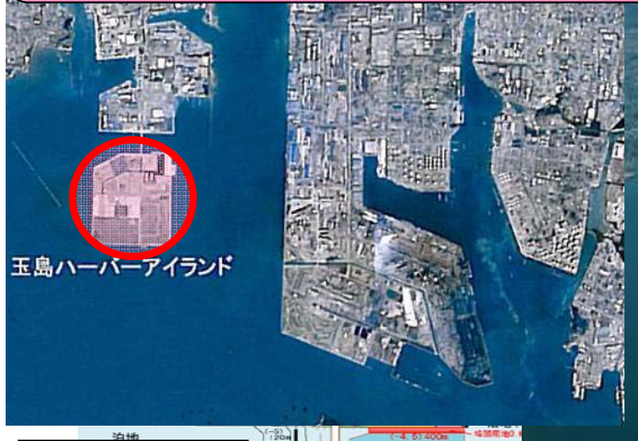


霞橋付近の渋滞状況

②環境・交流機能の強化
～(1) 環境産業の立地空間の形成～

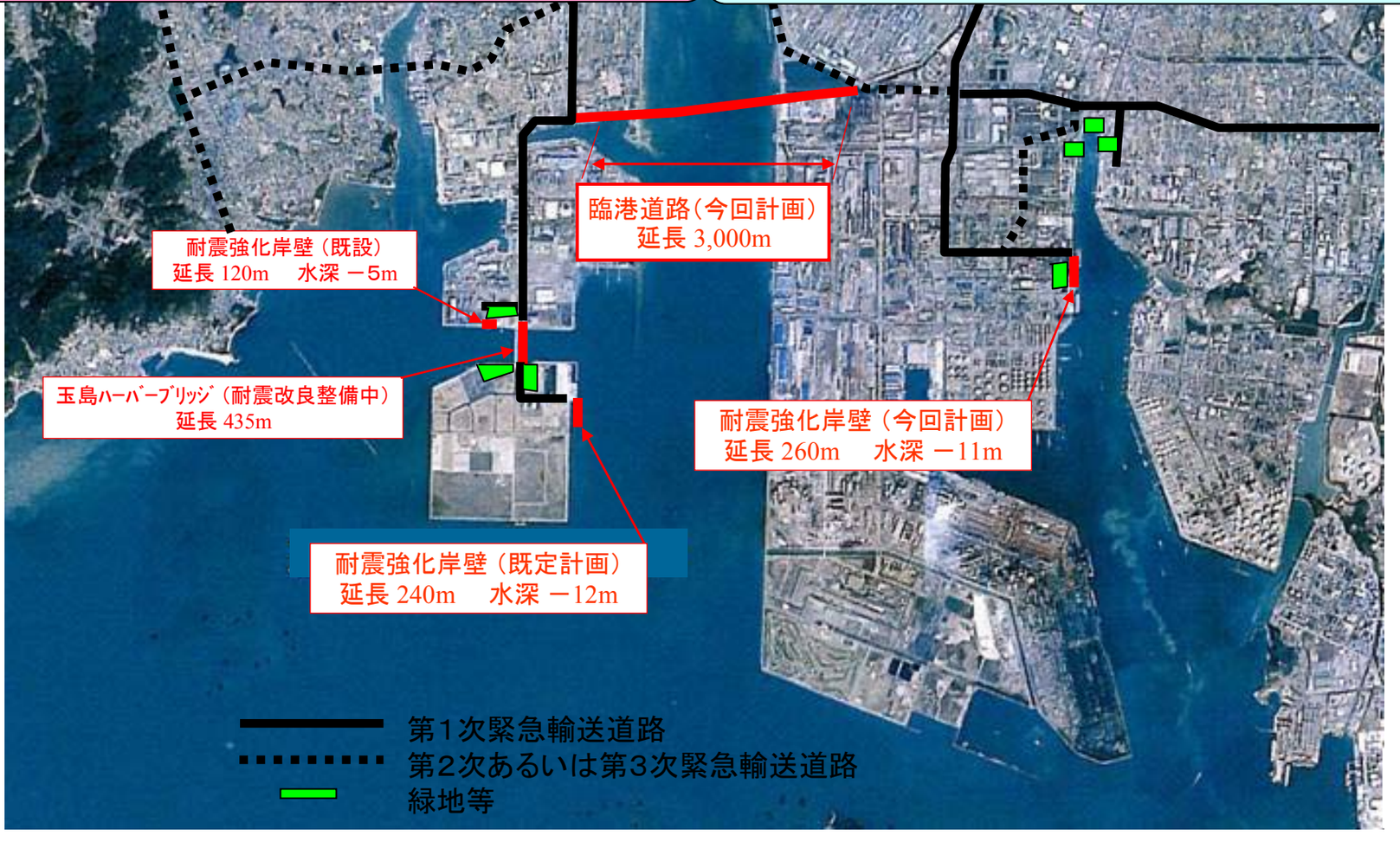
◆課題・背景
・臨海部へのリサイクル企業の進出意向に対応。
・近年の環境志向の高まりなどの社会情勢を背景に、循環型資源産業を誘致（環境産業ゾーン）。

◇対応
・企業の需要に応じた面積を、極力、まとまった区画で確保し、緑地、海浜の確保。



今回計画図

③安全対策機能の強化

◆課題・背景
・耐震強化岸壁の整備量が不十分
・震災後における東西圏域の通行の耐震対策が不十分

◇対応
・水島地区および玉島地区にそれぞれ耐震強化岸壁を整備
・今回計画の臨港道路で東西地域を結合